



ふくすく



桂川町社会福祉協議会子育て支援 Wa-Wa

第一歩

地域での子育て支援の取り組みのひとつとして、子育て中の親子を支援するボランティアの養成研修があげられます。本誌では、嘉麻市社会福祉協議会が開催した「子育てサポーター養成講座」で、子育て真っ最中のお母さんたちが講座を受講し、託児の実習にも参加した様子を紹介しています。いつもは子どもを預ける側のお

母さんが、わが子にやきもちをやかれながらも、ほかの子どもと一緒に抱っこし、ボランティアと託児をする光景が見られました。

これまで、地域の人に見守られ、支えられてきたお母さんが地域の子育て支援活動に参加したことは、社会参加への第1歩を踏み出したこととなります。見守られるだけでなく、地域の方々と一緒に活動することが、地域の子育て支援活動の始まりです。

(子育て支援事業推進室)

もくじ

- 平成19年度子育て支援モデル指定事業
指定社協第1回連絡会議 …… 2
- 桂川町社協子育て支援 Wa-Wa …… 2
- 嘉麻市社協主催「子育てサポーター養成講座」 …… 2
- 市町村社協が取り組む子育て支援者養成講座の紹介 …… 3
- こども写真館 …… 3
- 緊サポNEWS …… 4

市町村社会福祉協議会の子育て支援事業に注目!!

平成19年度「子育て支援モデル指定事業」指定社会福祉協議会 第1回連絡会議



連絡会議の様子

福岡県社会福祉協議会では、平成17年度から子育てサロン活動の普及を目的に、子育てサロン活動に関わる市町村社会福祉協議会をモデル指定し活動費の助成を行っています。

6月25日にモデル指定した21の市町村社会福祉協議会による第1回連絡会議を開催し、各担当者からの平成19年度事業計画の説明と情報交換を行いました。子育て支援事業推進室も、これから開催される様々なイベント、講座にお邪魔し、その様子を本誌で紹介していきます。



サロンの風景

たくさんの笑顔が待ってるよ

桂川町社協子育て支援

Wa-Wa

子育て支援 Wa-Wa は、平成15年度に桂川町社会福祉協議会が開催した「託児ボランティア講座」の修了生が中心となり、地域の親子の支援のために少しでもお手伝いできたらの思いから、託児ボランティア活動を始められました。

平成16年4月には、活動をより充実させるため子育て支援 Wa-Wa を発足。子育てサークル活動時の託児、乳児検診や予防注射などの手伝い、個人託児などの活動が行われています。

「無理せず、来られるときに子どもと一緒に遊ぶ」という姿勢が、スタッフが長く活動できる秘訣です」と代表の田中千津代さん。今ではスタッフと子どもの関係が築かれており、子どもはスタッフの中にそれぞれ自分のおばあちゃんを見つけているとのこと。子どもが駆け寄ってくる姿は、自分たちの財産であり、活動の源になっていると田中さんは笑顔で話してくれました。



「Wa-Waは私の元気の源です」
子育て支援 Wa-Wa
代表 田中千津代さん



る立場。託児をしてくださる方の気持ちが少しでも分かればと思って。」と、自分の子どもと一緒に他の子どもも抱えながら参加された目的を話してくれました。

お母さん方にとって、託児ボランティアの活動に触れたことは、社会参加の第1歩です。今後も、地域のボランティアと一緒に、地域の子育て支援活動に参加し、活躍できる機会が増えるといいですね。

現役ママも参加

嘉麻市社協「子育てサポーター養成講座」



オムツ交換を体験

嘉麻市社会福祉協議会では、地域の子育て力を高めていくことを目的に「子育てサポーター養成講座」を開催しました。最終日には、桂川町の子育て支援 Wa-Wa の託児活動に参加しました。

参加者は、Wa-Wa 代表の田中さんから、活動内容、託児中に気をつけていること、活動をする中での喜びなどを聞き、泣いている子どもを抱っこして寝かせたり、オムツを交換したりと初めての託児を経験しました。

参加者の中には、子育て真っ最中のお母さんもいました。「今は託児をお願いす

この講座好評でした♪♪ 子育て支援者養成講座を紹介します

地域ぐるみの子育てには、地域の親子を支援するボランティアが必要です。市町村社会福祉協議会では、子育て支援事業の一つとして、子育てに関する講座を開催し、ボランティアの養成を行っています。講座を企画する際には、対象者を明確に設定し、地域のニーズに合わせた講座内容を検討することが大切です。また、講座を受講した方々を活動できる場所につないでいくことも市町村社会福祉協議会の大切な役割です。

本誌では市町村社会福祉協議会が開催した講座内容を一部紹介します。

孫育て講座

あなたのががわりで、子どもの笑顔がもっと輝く…

- 1日目 木のおもちゃを作ってみよう
「どうぶつ引きくるま」の製作
- 2日目 おもちゃの広場(乳幼児と保護者向け) 開催
選び抜かれたおもちゃと子どもの笑顔にふれる
- 3日目 孫世代の子どもたちの遊び
～身近なものを使って楽しく～
- 4日目 孫世代の子どもたちとの関係作り
～甘やかさずに大切に。赤ちゃんから中高生まで～
- 5日目 子どもの発育と安全への気配り

行橋市社会福祉協議会が6月15日から30日の6日間で開催した講座です。救命救急や託児など、実習をたくさん盛り込んだ内容になっています。3日目には子育て支援グループから実践発表がありました。実際にボランティアやお母さんたちの生の声を聞くことで、参加者の意欲も高まり、活動内容を身近に感じることができます。

- 前原市社会福祉協議会は、「孫育て講座」と銘打って、主に50代・60代の方を対象とした講座を平成19年3月に開催しました。子育てを終え、時間的に余裕のある世代を子育て支援に引き込むことがねらいです。
- 講座をきっかけに、数名の方が継続して子育てサロンに関わっているとのこと。
- 講座名の工夫によって、対象者が分かりやすく、参加しやすいものになっています。
- 今年度は、ようこそ赤ちゃんボランティア講座やパパ講座を開催される予定です。

子育てお助け隊ボランティア養成講座

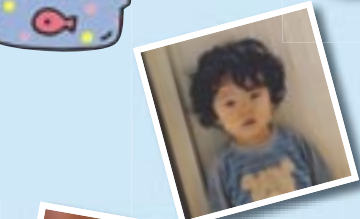
- 1日目 食育から考える子育て(生きる力は、食から)
- 2日目 子育てを楽しもう(楽しく遊ぼう)
- 3日目 孫世代の子どもたちの遊び
(ボランティアでできること)
- 4日目 幼児のけがの予防と救急法
- 5日目 今、私達に出来る、子育て支援
(いまどきの子育て事情)
- 6日目 幼児期の病気について(ご機嫌は、どうですか?)



こども写真館



暑い夏もへつちやら
今日も元気にあそんでね





緊急サポ NEWS



決意新たに！

福岡県社会福祉協議会では、働くお父さん、お母さんの仕事と子育ての両立支援を目的として、ふくおか緊急サポートネットワーク事業に取り組んでいます。

この事業は、病気で集団保育になじまない子どもの預かりや急な残業・出張などでの宿泊を含む子ども預かりなどの緊急時に対応するもので、大野城市・太宰府市・春日市・筑紫野市・那珂川町を対象地区としています。

七月五日、緊急サポートネットワーク事業を実施している団体（九州地区）が参加するブロック別交流会が開催されました。この会議では、厚生労働省、全国的な事業展開支援を行う財団法人女性労働協会、九州地区で同事業に取り組み福岡県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県計六県の各担当者が出席し、現在の状況、抱える課題等を報告し、意見交換を行いました。

依頼会員・援助会員募集中！！

大野城市・太宰府市・筑紫野市・春日市・那珂川町にお住まいまたは勤務先のある子育ての手伝いをしてほしい方、子育ての手伝いをしたい方、下記までお問い合わせください。

ふくおか緊急サポートセンター
福岡県社会福祉協議会
子育て支援事業推進室
TEL 092-584-3785



各県とも事業を進めていく中で、働く親からの反響が大きいのこと。このことから仕事と子育ての両立支援へのニーズの高さがうかがえます。このニーズに応じていくためには、地域での親子を支える援助会員の確保とともに病院など地域の関係機関からの協力を得るなど協力体制を整えることが必要となります。

本会では他県の事例や情報を参考に、地域での子育て支援の一つとして、地域住民の相互援助活動がさらに拡大できるように、本事業を進めていきます。



子育て支援事業に関わるようになって一年が過ぎました。昨年八月、初めて子育てサロンに取材に行ったときに恐る恐る赤ちゃんを抱っこしたことが思い出されます。私の普段の生活ではなかなか触れ合うことできなかった子どもたち。あれからたくさんのサロンにお邪魔し、たくさんのお父さんに出会い、今では、次はどんな親子と出会えるのかなと楽しみにしています。

先日、お産をテーマにしたシンポジウムに参加しました。以前、仕事で出会った方から、お母さんになる前の人たちには是非聞いて欲しいと声をかけていただきました。そこで、子育て支援事業推進室のメンバーで行って来ました。

「自分でお産を選ぶ」

シンポジウムの内容は、どこでお産をするのか（自宅、産婦人科、助産院）、どんなお産をするのか、しっかり自分のお産を考えていくというものでした。最後に、助産院でのお産シーンのスライド写真が流れると司会者が感動して、つい涙。つられて私たちももらい泣き。シンポジウムに参加して、お産が少し身近に感じられ、帰り道に、皆自分らしいお産を見つけたらいいなと話しました。

本誌の取材を通して出会う方々は、お産を終え、親になって、日々パワフルに子育てや子育て支援活動をされています。ひとりひとりお産も子育ても子育ての環境も違い、抱える悩みもそれぞれ。いろいろな方の思いを直接聞いて、子育て支援につなげていきたい、そう思います。

（かわかみ）

大募集！



「ふくおか」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。

皆さんの声をお待ちしています。

（子育て支援事業推進室）

この情報誌は、共同募金の配分金を受けて発行しています。